

## 可児の道場「漱玉館」で稽古始め



# 気合込め竹刀交える

### 県剣道連盟、80人臨む

県剣道連盟の新年稽古始めが3日、可児市大森奥洞の武道場「漱玉館」で開かれた。県内の八段剣士7人を含む有段者ら80人が集い竹刀を交えて汗を流した。

漱玉館での稽古始めは一年から開き、3回目。同館を拠点とするバローホルディングス(HD)の剣道部も参加した。同館師範の八段高石和摩さん(74)をはじめ、大学生から80代ま

稽古始めで気合を込めた一振りを繰り出す参加者＝可児市大森奥洞、漱玉館

で実力者が稽古に臨んだ。四段の田代正美バローHD会長兼CEO(76)も参加した。

参加者は一列に並んで正座し、黙想をした後、防具を着け「ヤーツ」などのかけ声とともに打ち合った。八段剣士も加わり、緊張感の漂う中、気合を込めた一振りを繰り出していた。

同部の久木原裕二監督(48)は「幅広い年代の人と

稽古ができ、すがすがしい気持ち」と話した。稽古後、参加者には豚汁やぜんざいが振る舞われた。

(小森直人)